

【学校教育目標】

自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる

【育成をめざす資質・能力】

- ・場に応じた表現力（話す・書く・伝え合う）
 - ・多面的に考える力（比べる・関係づける）
 - ・根拠に基づく判断力（目的に立ち返って）
- ・勇気ある行動力（失敗を恐れず挑戦する）
- ・他者から学ぶ姿勢（認め合い・学び合い・支え合い）

エージェンシー
(子ども主体の学び)

心理的安全性
(失敗できる環境)

みんなが笑顔
(持続的で魅力ある学校)



【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子…自分で考え行動する子
- ・やさしい子…人の言葉に耳をかたむける子
- ・元気な子…心も体も健康な子

【めざす学校像】

- ・みんなが笑顔の学校
- ・一人一人の子どもを徹底的に大切にする学校
- ・保護者・地域・学校が連携・協働して子どもを育む学校

【めざす教職員像】「チーム四錦」～最上位目標に向かって挑戦を楽しむ教職員集団～

- ・子どもたちの伴走者として学び続ける教職員
- ・魅力ある学校づくりの主体者として責任を持って行動する教職員
- ・教育に携わる職の専門性と、社会の一員としての社会性を兼ね備えた教職員

【重点目標】自信をもって表現する力

<キーワード> ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(子ども)

(教職員)

・主体的・対話的で深い学びの実現

- | | | |
|--------------|---|------------------------------|
| ・全員が発表する | ↔ | ・話し方・聞き方、的確な発問、相互指名 |
| ・自分の言葉で話す・書く | ↔ | ・問題意識、問い合わせ、ノート指導 |
| ・言葉以外の方法で表す | ↔ | ・多様な表現方法の経験 |
| ・場に応じた方法で伝える | ↔ | ・メディアの特性の理解と、相手意識を持った情報発信の指導 |
| ・相手を納得させる | ↔ | ・根拠に基づいた情報とその伝え方 |

【「生きる力」を育む具体的な取組】

<自ら学ぶ子>確かな学力の育成

- ◎「自ら学ぶ力」を育てる
 - ・子どもを主語にした学びへの転換
 - ・自ら学びとる学びの「すべ」の獲得（情報活用能力の育成）
 - ・自学自習の習慣化（学校の学びと家庭学習の連動）
 - ・「わかる」→「できる」→「生かす」を目指す学習活動
- ◎「社会とかかわる力」を育てる
 - ・地域と連携し、社会とのつながりを実感できる学習活動（STEAM教育）
 - ・プログラミング教育の推進
 - ・デジタル・シチズンシップ教育の推進
 - ・英語教育の充実
 - ・誰一人取り残さない学習環境
 - ・学習の質を高めるためのチーム担任制
 - ・組織的カリキュラム・マネジメント

<やさしい子>豊かな心の育成

- ◎「自ら律する力」を育てる
 - ・「あいさつ」「あんぜん」「あとしまつ」の徹底（規範意識の育成）
 - ・認め合い、学び合い、支え合い、失敗できる学習集団（心理的安全性のある環境、支える生徒指導）
 - ・しなやかな道徳教育の実践
 - ・特別活動の充実（子どもが主体となる活動の場）
 - ・多様性を認め、デジタル社会をよりよく生きる人権感覚の涵養
 - ・総合育成支援教育・国際理解教育の充実（個に応じた支援）
 - ・キャリアパスポートの活用
 - ・伝統文化・芸術体験の充実
 - ・「四錦のやくそく」の徹底

<元気な子>健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の確立
 - ・運動やスポーツの実践と体力の向上（運動することの楽しさや喜び、達成感・成就感を味わう学習活動、姿勢を保持する体幹）
 - ・「新しい学校の生活様式」の定着
 - ・保健教育の充実（食事・運動・休養・睡眠の調和のとれた生活習慣、自分自身の健康を保持・増進しようとする意識と態度の育成、性に関する指導の充実）
 - ・飲酒・喫煙・薬物に関する指導
 - ・子ども自身が危険を予測し、主体的に危険を回避する思考力及び適切に行動できる判断力の育成
 - ・食に関する指導の推進

家庭・地域との連携・協働

各学年・学級

保・幼・小・中との連携

「社会に開かれた教育課程」の実現

<学校・PTA 統一スローガン>
すべては 四錦の子どものために